

那賀町議会議員報酬に関する説明会及び意見交換会における  
参加者各位の御意見について

令和7年5月12日（月）北川公民館

- ・ 25万円がベターだと言っている住民が多い。
- ・ ただ報酬を上げるだけであつたら、報酬目当てで出る人がいるのではないか。
- ・ アンケートをとってほしい。（18万円、20万円、22万円等記載し、いくらが妥当だと思うかチェックを付けてもらうようなアンケートでもよい）
- ・ 最低賃金に合わせるのは低すぎる。
- ・ 28万円は高すぎる。
- ・ なぜ、徳島市などの市議会議員と比べるのか。
- ・ 報酬の額で決めるような人は、地域のためにならないと思う。
- ・ 政務活動費をつくり、議員報酬を抑えれば住民は納得するのでは。
- ・ 報酬を上げたからといって、値打ちのある人が出てくれるとは限らない。
- ・ 段階的に引き上げてはどうか。一度に引き上げることが正解とは思わない。
- ・ 町民と話す機会をもっと設けなければならなかったのではないか。
- ・ 新成人だけではなく、那賀町にいる住民の意見を聞いてほしい。
- ・ 議員は視点が高すぎる。住民レベルの視点を求めている。
- ・ 6月に上げなければならないもの（提案すべきもの）を、5月に入ってから説明するのは遅い。もう少し早くからすべきだったのでは。
- ・ 説明しなければ分からない。10年前から頑張ってきたというのは、今日初めて聞いた。

令和7年5月13日（火）木頭文化会館

- ・ 議員報酬の引上げには反対ではないが、那賀町議会が先進的な取組をして頑張っていることを理解した上でも、この10万円以上の引上げは住民に理解されないのではないか。
- ・ 現状では反対。町長給与の47%の指針とのことだが、議員により活動量が違う。町長の約305日の活動に対し、議会は80日程度で町長給与の12～13%だ。提案どおり引き上げると、年間2,500万円の財政負担が増加。しかし現状では辛いと思うので、議員の定数を9人に減らした中でやりくりをしてほしい。
- ・ 人口が減ったから議員定数を減らすのは安易だ。人口が減っても議員の仕事と責任は変わらない。
- ・ 今回のこの問題の投げかけにより町民が関心を持ったのはよかった。住民は主権者

である。よりよい議員に育てるため、町民側から情報を上げ、議員の質を向上させていくことが主権者としての責務だ。

- ・美波町議会では、アンケート結果をもとに議論し、そして町民に対し説明会を開くなど、非常に丁寧な進め方だ。アンケートだったらみんな答える。理解を得た上で、引き上げる方がよいのでは。
- ・定数を減らしてチャレンジすれば自分のためではない、現状のままで引き上げれると自分のためだ、と町民は受け取る。
- ・この先税収増は考えられず、支出は増えるとしか思えない。将来の交通インフラや南海トラフ大地震の心配もある。節約している1,100万円の使途は慎重に考えてほしい。
- ・町民側が理解することが大事なので、この際に議会から町民側にあらゆる面で広報をしてほしい。
- ・地元の製造業や介護、若い人の手取りは10万円台だ。もし28万円に引き上げるのであれば、それなりの仕事をしてほしい。
- ・報酬を上げて、若い成り手が出てこなければ後から批判される。若い人にどうアプローチしていくかを考えてほしい。
- ・10万円の引上げは民間では考えられない。段階的に引き上げてはどうか。
- ・議員の任期4年が過ぎたら、金銭的な補償は何もなく報酬だけだ。一定の魅力がある金額にする必要がある。
- ・無投票だと議員が評価されないから、常に選挙ができる体制にしておく必要がある。委員長は定数が減ると、より無投票になりやすいと言ったが、逆だと思う。

#### 令和7年5月14日（水）木沢防災センター

- ・物価上昇もあり、ある程度報酬を上げるのは問題ないと思うが、来年から倍になることは民間では考えられない。もっと議論をして適正な金額を考えてほしい。
- ・議会改革度ランキングが6位になったようだが、住民の目には見えていない。
- ・通年議会にしたことも成り手不足の原因ではないか。
- ・年間65回に会議数が増えているようだが、町民のところへもっと出てきてはどうか。
- ・報酬と定数の議論は別だと言うが、議員定数の削減が一番町民の目に見えることだ。
- ・成り手不足の原因として少額の報酬もあると思うが、違う部分もあるのでは。
- ・報酬が一気に県内でトップになることが、議会改革なのか。
- ・地域の行事に参加してくれると、町民にも議員の活動が見えると思う。
- ・地元議員だけに行事の案内を送っているところも改革してはどうか。
- ・議会の資質の向上も必要だが、いち議員としての資質の向上も必要ではないか。
- ・発言がしにくいので、美波町のようにアンケート取ってはどうか。
- ・上げ幅が大きすぎて呆れて物が言えない。私の周りで賛成する人は一人もいない。

- ・全国の事例を説明してくれたが、那賀町独自の実態を基に考えていただきたい。
- ・報酬を引き上げて若い方が入る確信がないのであれば、現状維持でいいのでは。
- ・車座会議があったことは全く聞こえてきていなかった。もう少し広く議会と話をする機会を設けてほしい。
- ・四季美谷温泉の話等、もっと住民の声を聞いてもらえないか。
- ・木沢地区ではまず温泉をどうにかしてほしいという住民が一番多い。その件でもっと議員に動いてほしい。

#### 令和7年5月15日（木）上那賀上流出張所

- ・住民はもっと少ない金額で生活している。
- ・財政的にはどうなのか。
- ・定数を半分の7名にして、全員に頑張ってもらってはどうか。
- ・2名削減して減らした分引上げ。
- ・意見を持ち帰ると言うが、このまま進めるつもりではないのか。
- ・副業しない流れになっている。
- ・住民にアンケートを取ってほしい。
- ・日当制にしてはどうか。
- ・広報活動等の必要経費は別途支払えばよい。
- ・年金受給者分を減らして、若い議員を増額してはどうか。  
→若手を出そうとするならみんな協力すべきだ。若手を引き上げて高齢者は辛抱したらいい。18万円が嫌なら辞めればいい。
- ・合併後の人口減少を考えると、定員を5名削減した分の1,000万円引上げが可能だというのは違う。
- ・消防団の出動手当のように、年80回の公式会議を日割りにして、1回4,880円程度としてはどうか。10万円引上げは住民が引いてしまう。
- ・議会活動に没頭すると言うが、毎日議会に行くのか。
- ・ある程度上げないといけないと思うが、みんなが言っているのは上げ幅だ。定数14名を維持するのなら、上げ幅を小さくしてはどうか。
- ・人口に対する議員数の全国的な状況は。引上げは仕方ないと思うが、その説明が一つもない。
- ・議会内で真剣に議論したのか。
- ・金額目当ての出馬でもいいのか。
- ・もし無投票になったら現状維持としてはどうか。
- ・今の金額で（仕事を）できているのではないか。
- ・人材づくりの組織を立ち上げてはどうか。若者の意見を引き出す場を設ける。議員の面白さを伝える。

- ・那賀町で年収450万円あるのは公務員くらいではないか。
- ・議員定数を10名にして、報酬は5万円（増額）の25万円かどうか。
- ・上那賀病院の繰入金になぜ賛成したのか。上那賀病院の看護師の勤務状況を見に行っているのか。
- ・引き上げたとして、それだけの仕事ができなかったら引き下げるのか。
- ・定年制にしてはどうか。
- ・説明会に議員全員が来ていない。不熱心だということがよくわかる。
- ・ほしいのだから5万円くらい上げたらよい。
- ・勝手に上げないでほしい。

令和7年5月16日（金）上那賀支所1階大会議室

- ・町会議員は生活のためにしていたのか。代表として、暮らしが少しでもよくなるように、町民のために活動しようとする人が議員になると思っていた。
- ・Facebookに書いている議員がいるが、任期は4年しかないのに、ずっとこの報酬が続く感覚を持っているのはおかしいのではないか。
- ・説明会に来ている人の意見を聞いてほしい。
- ・委員長の独壇場ではないか。しょうもない話ばかり、小松島市議会や阿南市議会、県議会の給料を言われても仕方ない。美波町、牟岐町、海陽町の町会議員の給料と比べて、それくらいに上げてほしいと言うのなら分かるが、自分たちが身を切る改革をしない。人口は7,000人を切っているのに、14人も要らない。
- ・意見を言わせてほしい。説明ばかり聞いても私には具体的に聞こえない。
- ・私たちは納得できない。
- ・何の話をしているのか分からない。やめようかとは無責任だ。
- ・発言の前にこちらから言わせてほしい。こちらのことを聞いてほしい。
- ・合併後の那賀町の人口、平成17年3月から令和7年3月、20年間の人口を月別にみると、前月より人口が増えたときはほぼない。人口と議員の定数や報酬とは関係ないと言っていたが、20年で4,664人、年平均で233人減少している。合併時平成17年3月の1万1,596人が、令和7年3月は6,932人になっている。合併から10年で2,300人、20年間で4,600人減少しており、単純計算では30年後の2055年には0人となる。合併すると別だが、消滅自治体だ。

これは議員の報酬を論議できる状態ではない。30年は長いようで短い。今の議員は特に持続可能なまちづくりをすべき重責がある。30年後には那賀町はないということだ。説明を受けたが、報酬引上げの理由が私には見つからない。県内で最低の報酬だということも理由にならない。現在の那賀町の議会がすることは報酬の引上げではなく、議員定数の見直し、削減が先ではないか。順序が間違っている。

- ・ 4月19日の新聞記事「那賀町の議員報酬引上げの説明会」と共に「小松島市議会議員の定数見直し協議を継続」が掲載された。4月1日現在の小松島市の人口は3万3,336人、議員定数は17人。状況は違うが、記事のとおり、報酬と定数をセットで議論することが必要だと思う。報酬引上げを急ぐことはない。議会では、20年や30年後の人口規模をどう決めているのか。忙しい議会だから給料が必要だということを改めて説明してほしい。
- ・ 新聞記事では、合併後5人定数を削減したとある。町の財源をせっかく削減できたのに、今後の議員報酬に上乘せして報酬を引き上げることに矛盾を感じる。節約分は他事業に充当されており、議会費に積み立てられてきたわけではない。議員の定数と報酬引上げは、具体性をもって住民が納得できるよう再度説明してほしい。
- ・ 報酬引上げは分からなくない。35歳未満の給料を引上げは担い手不足から必要だと思うが、年齢に関係なく、新しく政治を志す人の給料を高く、期数の多い議員はそのままにする。刷新を図る意味で、4期から上げないようにしてはどうか。
- ・ 那賀町では長年議員をしている人が多い。そんな人が未だに、地域から議員が出なければ仕方がない、地域に議員がいないとできないという視野の狭い考えではだめだ。町全体のことに取り組んでいかないと。期数の多い議員が多いので、隅々まで那賀町のことは分かっていると思う。
- ・ 引き上げた場合、来年どうするのかどうしても聞きたい。人口減少により住民負担が非常に大きくなるが、その点分かって言っているのか。
- ・ 財源の有無より、負担増をどう思っているのか。増額分をどこから持ってくるのか。病院施設をよくせよ、そちらに経費をとという声もある。報酬引上げはよいが、人間を削減するしかない。民間企業はそうしている。
- ・ 話を聞いていない。そのお金があればもう少し町民がよくなるようにできないかということだ。今、土日に救急車がどこに行くか知っているのか。上那賀病院に行けない状態になっている。
- ・ 自分たち（議員）の努力が我々に見えないので言っていることを分からないといけない。自分たちは驚敷にいるから上流部の事情が分からない。
- ・ 委員長はこう言ったらこう返す。
- ・ 年間3,800万円余り必要になるのなら、定員削減することも努力ではないか。
- ・ 10名に削減して報酬を引き上げればよい。こういう会議に出ていない人は削減して引き上げればよいと思う。今の町議会で町長とあれだけやりあったらうまくいくはずがない。恥ずかしいとみんな言っている。
- ・ 報酬引上げはよいが、それなら議員定数を削減するなりして議員も努力すべきというのが一般論。私の会社でもそういう話がほとんどだ。
- ・ 委員会に対しての人数割り当てということなら、2名ほどの削減は賛成だ。多すぎると議員個々の活躍や活動、仕事が手薄だと見受けられる。人数が少ないほどやらなければいけない、という感じになるのではないかと。委員会で今の人数が本当に必

要なのか、もう少し減らして本会議で意見を出し合ったらいいのでは。

- ・無理に委員会に人数を集めなくてもよい。一番望むのは定数の削減だ。報酬の引上げは反対しないが、満額ではなく8掛けなどであれば反対しない。長い説明は要らない。
- ・1万人いたから16人いたが、今は7,000人に満たないので議員を削減しても構わないのではないか。美波町は人口に応じて定数を削減している。無理に県や国の事例を並べなくてもいい。
- ・成り手がないのは那賀町に魅力がないから、40代50代の人がないからだ。40～50代は銀行や郵便局に勤めており、辞めてまでは（出ない）。生業によつたら二足の草鞋を履けるが、それ以外の人は退職してから議員をするしかない。議員の若返りと言われても無理だ。
- ・4年後当選するかどうかわからない。公務員の定年者か、二足の草鞋を履ける人でないと出ない。
- ・（立候補するかは）個人の問題で、決めつけることはできない。
- ・今の議員報酬は本当に少ない。議員報酬は議員活動に対する見返りと生活給の2面があり、引上げはよいと思う。ただ今までの分を計算し直して配分する説明になっている。
- ・16ページの相生地区車座会議における意見では「少ない報酬が障壁のひとつ。議員定数を減らし報酬を上げれば解消すると思う」や、「町内の給与の平均を計算し、それに見合った金額とすれば納得しやすい」という意見も出ている。委員長は平均所得が313万円と言っていたが本当にそれだけあるのかと感ずる。
- ・「間違っではいけないので録音させてもらう」と断ってから録音すべき。
- ・議会改革はしているというが、魅力ある改革ではなかったのではないか。選挙後、4年の間（議員の）顔を見ていない。電話をしてほしいのではなく、自ら出向き、どんなことがあるかを聞くことが皆さんには必要ではないか。
- ・やはり目線がちょっと違うと感ずる。数字ばかりだ。ほかの会議でもいろんな評価で数字が出てくるが、その数字が本当にいいのか。どういう工夫をしているかという議論をしないといけない。
- ・会議ではなく普通に話ができる機会でないと、町民も意見を言いにくい。資料も最低1週間くらい前に渡しておいて、読み込んだ上で問題点を考える。きちんと進行しないといけない。2時間という（限られた時間だが）発言したい人はまだたくさんいる。時間配分をしないとただの説明で終わる。
- ・車座会議に出席したことがあるが、会議の中で出てきた問題、要望に答えられているか見えてこない。
- ・もし反対意見がたくさんあった場合の対応はどのようにするのか。
- ・若者がいないのにどのようにして後継させるのか。引上げよりもっといい方法はないか。

- ・ 1年間、6～7人の出生では議員の成り手は増えない。
- ・ 移住者から議員になるよう、他所から引っ張ってきてほしい。
- ・ 藍住町はあれだけ（人口が）いて、議員は8人。比率にすると那賀町は多い。県議会の率に合わせよとは言わない。12人までは減らしても討論ができると思う。
- ・ 議員なれというのか。私はそんなことを言われるために来たのではない。議員はそれだけの給料だと知っていて議員になったのだから、それなりの覚悟はしてほしい。
- ・ 金儲けのために、役に立たない人が出て困る。
- ・ これだけ人口が減ったら14人では無投票がまた続くと思う。
- ・ 先ほどから質問者に立候補せよと言うが、ここにいる現職は退くつもりか。現職が退けば、代わりに出ることができるが、口だけではないか。
- ・ 年齢制限を設け、還暦までは25万円なら25万円、60歳を超えたら18万円だったら20万円ぐらいで抑えるのも一案としてどうか。
- ・ 上那賀病院が大変なことになっている。救急車が来ても17時になったら受け付けないし、緊急時でも土日祝日に受け付けない。結局、ふるさとへもってこいとか、他所から移住を進めたいというが、それよりも今ここに住んでいる人間の命を守ってもらいたい。あなたたちが議員のときに、体制を潰している。
- ・ 立派な人が長年している。新しい人がすぐできるものでもないのに、現職がもっともっと頑張ってもらわないと。
- ・ この人（出席住民）が14人出ると言ったら、下りてくれるのか。下りないだろう。
- ・ 今の給料では立候補が難しいとか、躊躇する人がいると言うが、過去6回の選挙で2回が無投票だ。仕事の有無に関わらず、今の金額でも志を持って議員になろうとする人は、過去6回のうち4回までいたことが事実としてある。だからといって給料を上げる必要はないと言うつもりはない。
- ・ 議員定数が減った時点で議論して上げるべきだったが、できなかつたので積算したという理由は、町民が納得できる説明でないと思う。この理屈は事務局が一生懸命考えたのかも知れないが、この理屈なら今後は定数が減らない限りは上げられない。
- ・ 会社経営者や、専業主婦で子育て中の人、移住してきて議員をする人もいる。現職議員のA、B、C各ケースを作って、それぞれに必要な経費を出す。そしてCさんの場合は厳しいとかといった具体的な数字を積算して出す。この額が28万8,600円より多かろうが少なかろうが、それはそのまま出せばいい。それで実際議長会で言っている程度の数字（34万円）が出ただ、我々は判断で28万8,600円に抑えたということなら、納得する人も出てくる。そういう資料が欲しい。
- ・ 那賀町は特に広いから他の市町村と比べようがないかもしれない。他の市町村はどういうレベルの報酬体系かも公開し、一般町民が判断できる資料として出したほうがいい。

- ・資料読めば分かるというのはもったもだが、それなら読む時間が欲しい。意見交換会での意見をまとめて、1か月後に1箇所でもいいので場を設け、全議員の意見を聞けるようにしてほしい。意見交換会で説明してきたから、あとは議会で決めてしまえばよいと捉えられたら不本意だろう。分かりやすい資料で、各議員の意見を皆が理解した上で、選挙で選ばれた人が決めてくれたら、不満のある人でもある程度納得がいくと思う。事務局は大変だろうと思うが、最後にぜひ設けてほしい。
- ・18万円は少ない報酬かもしれないが、それでも過去4回は、志のある人が出てきているのは間違いない。次の選挙に間に合うようにと急ぐ必要はないと思う。
- ・町議会議員は非常勤なので、いきなり10万円も上げるのはおかしい。
- ・これが具体的に納得できる数字だったら別に10万円引上げでもよい。
- ・費用もかかると言っていたが、出張等の費用弁償はなく自費なのか。実態を知らないと、この資料だけで納得するのは厳しい。
- ・理屈としては理解できなくはない。しかし「10万円も上げるとは議員は何をしているのか」と（住民は）感情的になっている。説明不足だ。出張費のことも全部分かるような資料で、最終的に皆の意見を聞いてはどうか。
- ・金額が新聞に出て、みんなが初めて知った。あれだけでは普通の町民は納得しないと思う。なぜこの数字になったのか、詳細で具体的な資料があれば町民も納得できるし、理解も出来ると思うので、今後考えてもらいたい。
- ・今言ったような意見を議会からまた報告してくれると言ったが、広報で結果を知らせてもらい、同時にアンケート調査を1回取ってほしい。6月議会とか急いで決めることはないと思う。町内どこも同じだと思うが、今日来ていない住民も多い。来ていない人の意見を聞くため、一世帯1枚ずつでもアンケート調査し、資料化して検討してほしい。
- ・資料が「報酬の改定に関する説明会」となっているが、これは「改正（案）」が正しいのではないか。これを見て、納得してくれたからといって進められても困る。
- ・議会側も、報酬引上げに対しては抵抗があるというのでこの説明会を開いたのだろう。議会の方針も細かく考えている。なにも急ぐことはない。今言ったことをできるだけやってほしい。
- ・定数は県議会と比べるとゼロでいいくらいだ。12人でやっていけないか。
- ・議員定数を減らすことは町民が考えるべき問題か。民間の企業でも黒字の会社でも、リストラをして新陳代謝を進めているところもある。結局、両方を兼ね合わせたような考え方を持たないと難しいと思う。
- ・定数を減らす理由は経費削減のためなのか。これだけ人口が少なくなってきて、意見を吸い上げてもらう機会が少なくなっている中、定数を減らすほどさらに難しくなると思う。
- ・さすがに18万2,000円は安い。私も民間の農業協同組合にいたが、トップは地域の農業者の所得程度の給与しか払わないという考え方だった。この313万円

の町民の所得は適正なのかはわからないが、それに見合うだけの報酬は払って活動してもらわないと、衰退するのは間違いない。

- ・ただ結局この金額に上げても、真剣に活動してくれるかどうかは疑問だ。その確約が取れることは絶対ないだろう。
- ・言っていることはよく分かるが、結局上げても立候補者がいるかにも疑問符が付く。それがいけばダメな人は落とすことが住民の力だ。
- ・やる気があれば住民として選挙に出る機会はいくらでもある。ここで述べるような意見も堂々立候補して出して、判断を仰いだらいいだけの話で、そのために議員報酬を上げて選択肢を広げるとするのは理にかなっていると思う。
- ・財源をどうするか。大体2, 0 0 0万円ぐらい年間増えるが、さっき2億円ほどの剰余金があると話していたが。
- ・住民が減れば交付税も減ると思うが、収支のバランス悪化の時点で、議員報酬を下げる心づもりがあるかどうか。決定事項といって続けては、町の財政がもたない。
- ・どこの町村も隠れた負債があると思う。旧町村で買ったものが、今は値下がりして財産が目減りしているものがある。また、老朽化している体育館等公共施設の解体など、将来的にはそのようなことが影響してくると思う。
- ・職業議員は必要なのか。必要な理由もあると思うが、町民に対して「職業議員にするため、生活できるだけの報酬が必要なのだ」というのはあまり上手い説明ではない。町財政の都合から、生活できない額に戻さなくてはいけない場合があるかも知れない。

「議員はボランティアでできる仕事ではない」というのは学者の判断であって。実際に那賀町の場合は町民感覚としてまだまだだと思う。

- ・委員長は理路整然としており、相手の意見を押さえて自分の意見を言う上では非常に有効だが、それではないだろう。一般の人にそうかと思えるような。
- ・今の意見と関係するが、河村元名古屋市長は議員を名誉職で十分だと言っている。ボランティア議員をやっているところもある。ここにあるのは北海道栗山町で、町長と議員と傍聴人、ここでは傍聴人とは言わず「参観人」という。この3者で議論して決める。ボランティア議員を公募している。直接民主制で議会をフォーラムとして位置付けている。問題は住民の意見をどう集中するかどうかだろう。広い岩手県で3, 4か所に振り分けての県民議会をしている。議員の覚悟不十分が根本で、住民の意思を抽出できていない。
- ・現職は誰ひとり引上げしたいわけではないのなら、この際据え置こう。そして今度出て来る新人には欲しいだけやればいい。それだけの責任をもって仕事してくれたら、N氏が言った職業議員はあっていいと思う。
- ・責任をもってずれないようにしてもらったら職業としてもらってもよいと思う。

- ・議員は町民のこづかいさん（下働き、お手伝い）であり、行政とのパイプ役ができなければ失格だ。今は住民と議会とのパイプが切れている。
- ・議会改革はそれでいいが、独走している。
- ・住民から議会はよくやってくれたと（言われるように）那賀町のために改革していれば問題なく、どんどん上げればいいが、住民に理解されていない。無投票で信任を受けていない議員がいるからだ。
- ・ケーブルテレビの議会放送があるため、今の議員はすべて個人プレー、パフォーマンスになっている。井戸端会議でのまちづくりが大切。
- ・議員がグループになって課長も入ってもらい、練り上げて理解を得られたら絶対に町長はしてくれる。本当に困っていることを解決してくれたら住民は満足する。
- ・私は議会の味方だが、住民からはそのように理解していない。議会があるので（テレビを）見ようと思われる議会にならないとだめだ。
- ・地域のために一つ一つしていたら声をかけてもらえるようになり、地域の行事に参加して行政報告をしたり、懇親会に参加したりしたことで信頼性関係できた。報酬がなくても喜んでくれたらうれしかった。昔はほぼボランティアだった。
- ・引上げは悪くないが極端だ。今まで私が言った指摘ができ始めたら住民にも理解される。
- ・議会がこれまでになにをしてくれたのか分からない。実績に対する金額なら賛成できる。人口に見合う金額。
- ・家庭菜園等高齢者の楽しみのための有害駆除など、小さい目に見えることとも考えてほしい。
- ・今回の説明会及び意見交換会で出た意見をどのように反映するのか。
- ・報酬と定数をセットで議論すべきではないか。
- ・空き家を活用して地域を活性化してはどうか。
- ・私は住民が喜び、猟師が喜び、町はふるさと納税が入ることでみんなが喜ぶ事業をしている。特別委員会で研究を重ねてほしい。
- ・鶯敷地区の給油所はどうなったのか。人口が一番多い地域なのに、災害時ガソリン供給ができず困るのではないか。
- ・住民が困っていることをリストアップし、グループで視察に行き研究して一つずつ

解決してほしい。

- ・町長が権限をゆだねている課長のところに足を運んでいるうちに予算化され、議員が審議するのがルールだ。
- ・優秀な人材は高い報酬でヘッドハンティングしないと来ない。何期も議員をしても18万円では、年金もないし来てくれない。議員年金を復活させたらいい。
- ・一度に10万円の引上げは多い。5万円の引上げとし、政務活動費を5万円としてはどうか。議員は個人の活動により評価されるべきだ。政務活動費があれば記録を作って報告して回ることができ、活動した人が次の選挙で受かるという民主主義のプロセスになる。
- ・活動が住民に伝わっていない。住民に理解してもらうようどう解決するのか。
- ・一度に10万円引き上げると住民の不信感を買う。まず25万円にして新人が入って様子を見て、仕事の出来具合だ。

令和7年5月20日開催 相生地域交流センター

- ・各議員は報酬を上げることについて、もっと考えがあるのでは。報酬が安いので上げることも一理あるが、それ以外に何かないのか。
- ・今は我慢の時代である。
- ・議員には弱者に寄り添った議員活動をお願いしたい。
- ・那賀町の財政状況や規模を勘案した適当な金額になっているのか。
- ・もっと那賀町のことを考えてほしい。30万以上の報酬がなければ議員はできないのか。
- ・類似団体の資料が全くない。都合のいい資料ばかりを説明しているように感じる。
- ・報酬を上げてても身分が安定していないので難しいのでは。
- ・ケーブルテレビで議会活動や委員会を放送しているが、近隣住民や知り合いは、ほとんど見ていない。議会への関心が薄れている。
- ・議会改革度ランキングが6位ということも知らなかったし、内容も知らない。
- ・一般の会社では、退職者の給料を従業員へは割り振ったりしない。定数削減した分を14名に割り振るといった感覚が理解できない。

- ・ 思っていることを最初に書き、アンケートを取ってはどうか。
- ・ 各地域の連絡員にアンケートを必ず出すように言ってもらってはどうか。
- ・ アンケートは設問により回答を誘導できるので、アンケートは必要ない。
- ・ 議員報酬引上げを皆さんにお伺いするのであれば、議員報酬を引き上げる分、我々ももっとクオリティの高い政治ができるようになるという説明をもっとしてほしかった。
- ・ 報酬を上げるか否かの話になっている。報酬を引き上げた分、クオリティが上がることに對して信頼できるかどうかの話であるべきだ。
- ・ 議会改革特別委員会は重要だと思うが、いつまでもするものなのか。

令和7年5月21日（水） 平野小学校 1階和室

- ・ 上流では説明が長かったと聞いたので、手短に願います。
- ・ 住民のために働くと言って議員になっているのならお金のことを言うな。お金が欲しくて議員になっているのか。
- ・ 成り手不足対策なら定数を削減すればよい。合併後どれだけ人口が減少したか知っているのか。削減した定数も数名しかいない。
- ・ 「頑張らせてほしい」と言って議員になったら殿様だ。
- ・ 会社には能力給がある。議員一律はおかしいのではないか。
- ・ 成り手不足は政治への無関心からだ。発言が二転三転するところを見ると政治家になりたくない。人のために働く人が少なくなった。
- ・ 議員が少なくなり面積が広いから回れないと言うが、私は相生だが、驚敷の議員はきたことがない。支持者のところだけでなく、敵のところでも「こんなことをしている」と話をしたらいい。
- ・ 若者が戻ってきやすいことをしていないので戻ってこない。
- ・ 議員個々に評価をしてはどうか。
- ・ ガソリンスタンドに3億円かかるのなら、議員報酬引上げを1年待てばよい。引上げの財源は。
- ・ 那賀町議会では美波町議会のようにアンケートは取らないのか。アンケートは（報酬引上げ）賛成、反対の二択だ。
- ・ 説明会への出席者が少なすぎる。
- ・ 最終誰が、どのように判断するのか。
- ・ 成り手不足を報酬引上げにつなげるので反発する。定数と報酬を一体的に議論すべき。

- ・報酬を上げても、いい人が出るとは限らないので、妥当な金額で検討しては。
- ・よくよそのことを言うが、那賀町是那賀町の財政だ。
- ・基金は災害等非常時への貯金だ。議員報酬に充てる基金なのか。
- ・町外の家族を呼び戻して出馬してほしいと言うが、落選したらどこで働くのか。誰が面倒を見るのか。
- ・お金で人を釣っているのではないか。
- ・報酬引上げに反対の議員はいないのか。
- ・報酬等審議会に諮問するのか。
- ・住民の代表なので住民の話を吸い上げないといけない。どのように吸い上げるのか。
- ・アンケートはワンクリックでできる。
- ・みんな議員報酬引上げに反対ではなく、金額の上げ幅が問題なのだ。
- ・議員活動に専念するためにはそれなりの金額、生活安定の基盤が必要になる。年金受給者は30万円を必要としない議員もいるのでは。
- ・金額だけではいい人が当選するとは限らず、民主主義は難しい。
- ・那賀町の平均所得は高いと言うが、どこと比べているのか。
- ・選挙にならないといけない。
- ・現職が強いと思う。負けるところにわざわざ行かない。
- ・議員に出馬する人が少なければ、定数10人でもよい。
- ・数十年先の財政を考えると、今の人数で基金を食いつぶしていくのか。
- ・町の財政は苦しくないのか。ならなぜ地元の要望は「お金がない」と言って対応してもらえないのか。
- ・箱ものばかりでは将来に負債を残すばかりだ。
- ・私は75歳だが、私の子供世代が議員になるなら少し上げてもらわないと生活できないと思う。
- ・那賀町職員には住民票を町内においてもらってはどうか。町職員は給料が高いのに、税金が那賀町に入らないとますます財政が厳しくなる。
- ・報酬引上げ額が1万円や2万円なら誰も文句は言わない。（今までに）1万円ずつ上げていたら今頃は10万円くらい上がっていたのでは。
- ・成り手不足解消のための引上げと言うが、これだけ日頃から批判され、嫌われがちなら、28万円になっても議員にならない。
- ・引き上げる場合は、候補生の制度創設や、インターンシップの受入など、成り手不足解消成果が見えないと批判される。
- ・議会改革で成果が上がり、那賀町が良好に、裕福になるのなら金額に誰も文句を言わないが、議会の成果が町民に見えていない。
- ・今の議会と行政はどうしてうまく回らないのか。
- ・議員報酬と定数に限ってでよいので、説明会における住民の意見をまとめ公表してほしい。

- ・若年層の成り手は必要だが、副業をしないと議員だけでは生活できる報酬ではないというイメージがついている。
- ・説明会に参加していない議員が複数いるが、全員来ないのはそういう意識しかないのかと思う。
- ・選挙になって若手も出馬したが、結局今のメンバーと変わらなければ、あとから報酬を18万円に引き下げるのか。
- ・求人票でこの金額と仕事内容が書かれていたら、20万円台でも選ばない。
- ・議員に伝えたことが届き切っていないように感じる。
- ・議員にならないかと声をかけられるが、理由を聞くと「成り手不足だから」と言われる。これは「(誰も)したくないから余っている係だが、してみないか」と言われているように感じるので、その人の長所を見て声をかけてほしい。
- ・Y o u T u b eでは全世界に流れるので、議会として品のある発言、恥ずかしくない態度にしてほしい。
- ・教育に注力してほしい。
- ・議員は365日議員だが、それは経営者も百姓家も同じだ。
- ・議会と行政は両方がうまく組まなければ片輪では無理。町職員がいて三輪、町民がいて四輪となり、転ばない会社になる。
- ・私たちが納得するような成果を議員が出せば、それだけ引き上げても文句は言わない。今は見えていない。

令和7年5月22日(木) 西納もみじ川ふれあい館

- ・県内の町村の資料がない。県内の市町村の議員報酬は非常に大事であり、示すのが親切だ
- ・全国のランキングの上位ばかり書いて、県内を外している。これは町民を欺いているということにならないか。
- ・議長と委員長の話は、お金のことばかりに聞こえる。私は考えが古いかもしれないが、議員は地域のために自分の力を注ぐことが基本だと私は思う。サラリーマンのように時給が幾らとかそういう問題ではないと思う。
- ・議員それぞれの考えを聞きたい。しゃべる議員に限られている。
- ・この33万円という金額は、町長の給料を基準にたたき出したお金なのか。額がひどい。
- ・頑張っていると言うが、議員は選挙以外で会わない人がほとんどで、来てくれるのは一人の議員だけだ。
- ・議員定数を減らして報酬を引き上げるという話は出なかったのか。
- ・毎年約200人の人口が減っているので、議員の数も減らすべきだと思う。
- ・議員が地域に偏在している。議会に魅力がないから、出る人が少ないように思う。

お金の問題よりこの意識をみんなが持っていると思う。

- ・定数を10人にすると4人減って、1人頭7万円以上の引上げになると思う。
- ・過去に19名から14名に削減した分を充てて、今後の20年間で使うのはおかしい。どうしてこんな発想になるのかと思った。
- ・表を見ても7,000人で14人。もっと人口が多いところで14人とか16人とかの団体が多くあるのに、おかしいのではないか。
- ・年金生活者も多いのに、約30万円ほしいという気持ちが分からない。遠慮してもらいたい。
- ・身を切った2,000万円は、町民のために違う方向に使ってもらったほうがいい。多分みんなそう思っている。
- ・議員はしんどいと思うが、やはり2,000万円は多額だ。医師を呼んでもらうとか、不便に思っていることに使ってもらうとかのほうが良いと思う。
- ・那賀町の平均所得が300万円とのこと。私個人はそれよりも低いし、私以下の人もいるだろう。他議会との比較もいいが、町内で働く我々のような低所得者に目を向け、その生活が向上してから、議員報酬引上げの話をしてほしい。
- ・今の議員に魅力がないのも原因があると分かってほしい。全然が魅力ない。
- ・この会も含めて12回町内を回るが、それだけで住民の意見を集約できたと考えるのか。アンケートを取り、幅広い住民の意見集約をする機会を設ける考えはないか。
- ・アンケートは取ったらいいと思う。定数と給与の問題に加え、小選挙区というのでも1つの方法ではないか。小選挙区なら現状のように議員が地域に偏っている状態を人口に応じて万遍なくすることができる。旧5か町村のどこかで区切りを付けて3つに割るとか。選挙に出る人も出やすい。
- ・本当は来たいが来られない住民も多々いると思う。先ほど議長が言ったように、毎回（意見交換会で）アンケートを取れという意見が出るのであれば、議員の考えを説明するのはいいことだが、それを踏まえた上で、アンケートは考えてほしい。
- ・この秋までアンケートなどをやって、定数を減らす代わりに給料もこれだけ上げてほしいと交換条件としてはっきり打ち出したほうが。25万円になるならやろうかと言う人もいるかもわからない。
- ・18万2,000円は上勝町と同額で最下位だが、上勝は8人で那賀町は14人。皆の意見では多いと思っている。
- ・面積的には広すぎて、鶯敷から木頭の奥まで1時間半もかかる、こんな町村どこにもない。ちょっと来いと言われても行けるわけがない。それから考えると小選挙区（もよい）。議員の顔が見えないのは当然で、はるか遠方にいると分からない。すれ違っても誰が議員か分からない。
- ・毎月広報を見ていると。相当人口は減っている。死亡欄に載せない人もいる。那賀町は今3千4～5百世帯。上勝のように600前後の世帯数とまた違う。
- ・確かにある程度給料を上げたら飛びつく人間もいるかもしれない。しかし年々年々

人口が減ることを思うと、今判断すべきところであり、報酬を引上げ定数は減らすと思切らないと、人口減少を止めようがない。

- ・秋には引き上げる内容を説明しているようなものだと思うが一度、反対か賛成か住民投票をしてみたらどうか。そして賛成が50%以上あったら、はっきりする。
- ・説明しただけで、みんなに納得してもらえたと議会で決めていくような形か。来ていない人は賛成だというような意見か。
- ・議長の話聞いて、非常に熱い思いで行政に関わっているのはわかった。続けて頑張りたいとは思いますが、ここへ挙げているこの額でないと続けてもらえないのかと思う。
- ・この金額に非常にこだわっているようにしか聞こえない。
- ・町民負担額から言ったら、納得できる金額ではない。
- ・若い人にしてもらおうとするには、かなりのパフォーマンスをしないと。当然給料もそうだが、若い人が「いいな、ここで住みたいな、やりたいな」というところが少ないから、どんどん流出している。
- ・町の職員も4割町外から来ているが、それ自体おかしい。だからやはり魅力がない町なのだ。そして年寄りがもう5割以上になったら、町の財政もきついと思う。私も町民税払っているが、今の職場であちこち行っているが、那賀町はダントツに高い。それだけ町政が厳しいと思っている。近隣の小松島、阿南、美波町等と比べても大分高い。
- ・今までの18万円で34万円という話だが、金額の差がすごいと思う。全然、上げるのに反対ではないが、その辺を考えてもらえないか。
- ・アンケートを取っていただきたい。
- ・来てくれている住民が十数人しかいないが、その7割が28万8,600円という金額に対して高いという意見だ。そういう意見があるということは、やはりこの金額ではだめで、もう少し低い金額を提示してもらったほうがいい。
- ・選挙関係なしに回ってほしい。
- ・議長の話聞いていると、地域のために一生懸命とか、国民年金でとか言ったら、議員の成り手がいない。若年層は自分だけよかったらいいという人が多い。本当に議員なんて、しんどくてやっていられないと思う。18万2,000円で、なんで人の世話をしなくてはいけないのかと。そしてこの地域は住民Aが議員をやめてから結局8年間議員がいない。議員に頼るも頼らないもない。地域が一緒になってやらなくては仕方がないと思って、この地域は皆が助けようとやっている。
- ・正直なところ今の給料で出る人はいない。28万円でも30万円でも人の世話は嫌だとのことだが、これは当然と思う。

- ・町会議員として頑張ってきたことは資料でよく分かったが、その間、那賀町は何がよくなったのか。そこが議員の評価になるのでは。
- ・金額や定数のことばかりを言っているが、私達が欲しいのは議員の質である。町のリーダーならば、ある程度理性や品格を持ってほしい。もう少し自分を律し、公明正大に自分を育てた段階での報酬引上げなら喜んで賛成すると思う。
- ・庶民から見ると、町長の47%分の仕事をしているようには見えない。
- ・その報酬だけで生活するだけの金額と、兼業しながら議員を片手間とする金額とは違うと思う。
- ・議員報酬だけで生活するのであれば40万円は必要だと思うが、その代わり朝から晩まで普通の会社員と同じように働いてもらわなければならない。
- ・若年層よりも高齢者のほうが問題意識は高いと思うので、必要以上に議会へ若い人を求める必要はないと思う。町のリーダーにはある程度若いエネルギッシュな人が必要だと思うが、議員はある程度の経験や仕事で得た知識がある人のほうが、良い意見が出ると思う。
- ・日頃の議員活動ができていけるのならよいが、賛否を議会で示すだけであれば、それほど報酬は必要ない。
- ・月曜日から金曜日まで働いているのなら、仕事を辞めなくても、土日に議会を開く等、知恵を出せば、お金を使わなくてもできることがある。
- ・定数を半分にすることも一つの案では。
- ・堤防ができることは周知してくれたのか。議員の務めではないのか。
- ・給料上げるために、これだけ立派な資料がつかれるのなら、全戸に周知のためのチラシを配ってきてもいいのでは。
- ・給料を上げるのなら、様々な地域で上がっている問題に対して細かく相談に乗っていく活動を見せていけば、人の心に訴えられると思う。
- ・報酬引上げと定数削減とが別の考え方だというのはおかしい。
- ・仕事の質によって報酬を上げたり、下げたりすることは必要だと思う。議員の質が上がり、仕事をしてくれるのであれば賛成である。
- ・次は私たちの世代で、その次は私たちの子どもの世代である。そのように続けていくために、那賀町議会の報酬を上げるということであれば、賛成である。
- ・報酬引上げで議員の成り手ができると言っていたが、報酬だけの問題ではないと思う。今の那賀町議会に全く魅力がない。
- ・議会改革をしっかりとしてくれているということだが、反対の場合もある。50回の公務が80回に増えたようだが、議員になりたくても仕事をしている若い方は出られない。
- ・定数を削減して報酬を上げるのであれば、40万円に上げて構わない
- ・議会だけではなく審議委員会を設けてはどうか。
- ・中で評価されていないのに、外で評価されたことばかり胸を張って言っている。ま

ずは町民によくやったと言われてから、初めて胸を張って言ってほしい。

- ・他の県や四国も一通り全部見たが、上げ過ぎだという意識が強い。美波町のように10から12の適正議席にして、その分引き上げてはどうか。
- ・内向きにアピールをして、町民から批評をしてもらう体制にしてほしい。議会の体裁ばかり考えている気がする。
- ・私は25万円がいいと思うが、国民年金受給者（の議員）は21万円くらいがいいのではという意見がある。
- ・給料を上げて構わないが、定数削減をしてほしい。なぜ一緒に考えないのか。
- ・議員の中にも複数人いると聞くが、現状維持の議員の意見を聞きたい。
- ・周知と住民の意見の反映をもっと進めてほしい。
- ・もっと町民の意見を聞いてから様々なことを検討してほしい。もっと謙虚にならないといけない。
- ・各集会所に集まれば送迎してくれるのであれば、参加すると思う。30%や20%しか意見を聞いていないというのはそこである。
- ・議員が入っていない報酬等審議会にかけて、最後には1か所に全員集まったの大討論会で、各議員の意見を聞きたい。
- ・「住民に分かりやすい議会、議論を尽くして町の方向性をしっかりと定めていく議会に生まれ変わってきた」とあるが、私は合併して分かりにくくなったと思う。

令和7年5月26日（月） 那賀町地域交流センター

- ・議員報酬の改定理由に疑義がある。人件費を増やしていくこと自体、町民に対して失礼だと思うが、金額を上げるのは適当だと思うので、報酬を上げるのであれば、議員定数の減数をせよ。
- ・人員の削減が先だ。町民には28万円で説明しているが、議会全員一致していない状況で説明をするのはいかがなものか。
- ・議員報酬より定数削減を先に議論すべきではないか。
- ・意見交換会で意見を聞いただけで終わるのか。今後議会で議論をするのか。
- ・この金額は、普通に8時間労働をする1か月の対価に相当するが、議員は毎日8時間労働をしているのか。81回で増えるのならば50回に減らしては。
- ・14人の定数を10人に。そして1か月28万円の報酬を4人分、削減した112万円を10人で割った11万2,000円を、現在の18万2000円にプラスすれば29万4000円になる。
- ・10月の改選後、1年目に2万5,000円、2年目に5万円、3年目に7万5,000円、4年目に10万円というように段階を踏んで引き上げてはどうか。急に10万6,600円を引き上げるようなことは、企業や一般社会でもない。
- ・北川地区での1回目の説明会において、14人の議員のうち8人が70歳以上と新

間に記載されている。やる気と精神、肉体的にできる人なら年齢は関係ないと思う。現在では人生100年の時代だから年齢は関係ない。

- ・ 22万円台が北島町、藍住町、東みよし町。20万円台が松茂町と板野町。徳島県では都市部だ。一方那賀町は、人口が激減している地域で、都市部との地域性が全く違う。
- ・ 一度に10万6,000円の引上げは反対する。議員中での反対意見を聞きたい。
- ・ 平均で19日も出勤していないのではないか。
- ・ 県外出張や研修を入れても、ひと月10日も無いと思う。ひと月10日で18万2,000円なら上等だ。多少は上乘せしてもいいが、10万6,600円も上げるのは不自然。
- ・ 人口減少に比例して（議員定数を）2人とか4人とか減らせればいいと思う。
- ・ こんなお金の使い方よりも、国保税とか固定資産税を1割でも2割でも下げてほしい。今年の秋でも来年度からでもいいので提案してほしい。議員に10万円も上げるほどの金があるのなら、町民のためのことを思うのが先だと思う。
- ・ 介護保険が高い。那賀町が徳島県で一番高い。下げる方法はないか。
- ・ 町村議会議員報酬の全国平均と比較するとかなりの差額だ。
- ・ 良いことだと思う。なぜなら魅力があるではないか。これだけ給料を引き上げれば、今後なりたいと思う若い人もいるかも知れない。18万2,000円の給料が少なすぎて驚いている。
- ・ 日誌では100時間ぐらいと言うが、これは自己申告ではないか。見せて恥ずかしくない100時間なのか、公表できるか。
- ・ 講習会をすると行ったが、賛成している人を呼んで講習しても仕方がない。反対の意見も聞きたい。賛成者ばかりを呼んで話を聞いたところで、賛成の意見しかない。
- ・ 「若い人に出てきてもらって」こればかりだ。高齢者ではいけないのか。那賀町の現状を見若い人、若い人と言っていたら誰も出られない。
- ・ 今でも若い人は（議会に）いる。
- ・ 18万円の給料で何が悪い。今までずっと18万円で過去の人もやってきた。なぜ急に11万円も上げようとするのか。はっきり言って仕事も大してしていない。
- ・ 年間2,500万円のお金が要る。財源の説明もできない。そういうことから議員を削減せよという声があったではないか。どうして議員を削減することを先にしないのか。
- ・ 議員が8割方、賛成したら上がるのだろうが、そんなことはしないように。
- ・ 反対する人が何名かいる。これを聞いて結局は1~2か月後に、給与を上げた、ではこの会の開催の意味がわからない。
- ・ 10万円上げるのではなく、2~3万円上げる。段階的にいくか。定員を減らすかを、もう一度検討してくれるということによいか。
- ・ 年金受給者と、若くてまだ年金を貰っていない人と同じ10万円ではいけない。や

はり差を付けなければ。何歳以上は10万円上げるとか。差をつけなければ仕方がないのではないか。一律10万円は無茶だ。

- ・ いいか悪いか、あるいは10万円を上げるか否かの簡単な内容でアンケートを取ってはどうか。
- ・ 23日に（阿井公民館で）議会議員の仕事ができてない、町民に嘘をついている、また町民を騙しているということも言ったが、議長も柏木委員長もそれには反論しなかった。なにか反論できるか。
- ・ 令和5年3月6日、私のところへ来て何を言ったか。これをここで言ってもらえないか。特別委員会委員長がいるので、皆に聞いてもらいたい。
- ・ 阿井の堤防の件。これが町民にも発表されていないのに、県へ要望書が出されている。その中で町民との対話、用地交渉も皆協力するという内容が書かれている。町民と議員連中の誰と話をしたか聞きたい。こんな仕事ができているのになぜ報酬を上げないといけないのか。町民を騙す嘘。こんなところはどこにもない。一旦、嘘又は騙すということになれば、誰も信用できない。要望書は令和3年11月に出しているが、私たち町民が知ったのは令和5年3月だ。
- ・ この前、結局は議員の中で議員報酬の賛成・反対の多数決を取ったら、引上げに賛成の議員が多かったと思うが、今年10月に改選がある。そのときにその分を決定する計算でいると思うが、順序だてて採決をもう一度見直すのか。
- ・ 要するに決まってはならないということか。この場においての意見は、ほとんどが圧倒的反対になると思う。参加していない住民も、鶯敷地区の住民ほとんどが反対という意見になると思う。
- ・ 財源的に本当に賄えているのか。議員報酬だけ決めたところで、財源確保は絵に描いた餅でなかなか難しいと思う。まず議員削減、それから段階的に議員報酬を考えていくと、これも来年の国勢調査の人数配分によつての交付税によつて考えたらどうか。
- ・ 議会改革特別委員会では議員定数の削減という言葉聞いたことがない。次の選挙では議員定数の削減については考えていないのか。今の定数のまま選挙を議会は考えているのか。
- ・ （議員定数を）10人にして、4人減らした分をほかの10人に回したらいいと思う。財源が分からない状態で給料をあげるのはおかしいと思う。とりあえず定数を減らしてほしい。
- ・ （特定されるため割愛するが個人商店名）のことで、もう店はしていない。いつ崩れるか分からない。もし事故があったらどうするのか。私が死ぬまでにはちゃんとしてほしいと思う。
- ・ 自分たちの金儲けのことだけしか考えていない。
- ・ 定数については議会内で話をしていないのか。議長に聞きたい。
- ・ 那賀町議長のOBが4～5年前に申入れをした。聞いていないのか。柏木委員長に

そういう申し入れをしたが一向に進まない。報酬の問題より先に定数の問題を討議してもらいたい。

- ・給与を上げる話で賞与も上がるのか。
- ・新成人のアンケートだが聞く対象がいかがなものかと思った。余りにも説得しようとする資料としてしか見えない。
- ・一概に定数を減らしたほうがいいとは思わない。給料も増やしたほうがいいと思う。
- ・この話合いは結果が決まった上での説明会ではない。議会の定員はそのままで報酬はこのような結果に、ということは審議するのか。
- ・議員削減という意見が多い。報酬も一気に上げるのはおかしく、段階的に上げていく方向ではどうか。
- ・全ての説明会が終わった後、話合いをしていただき、それを我々にもう一度、決まる前に振っていただいて、キャッチボールをした上で、今日の話合いが有意義に生かされることを希望する。
- ・今回の説明は数字的なことばかりで残念だ。確かに若い人が生活するには厳しい数字だと思う。成り手不足は議会だけでなく、駐在員等高齢化で役職をする人がいない。報酬は上げるのならば、そういったボランティア的に働いている方たちに何とか協力していただけるような方策を考えてほしい。
- ・町民のために働いてくれるなら、いくら上げても構わないと思う。
- ・無投票工作のようなことはしないように。しっかり選挙はしなくてはいけない。委員長でありながら無投票にするような不細工なことは絶対にやめてほしい。
- ・若い人の成り手を増やすためには報酬がまず一番という考え方は全国でもそうだが、いくら給料を上げて、無投票は無投票になる。今の議会に魅力を感じないからだ。
- ・別にお金を上げなくても、一生懸命昔はやっていた。今、生活ができないというのはおかしい。18万2,000円でもやろうと思えば十分やれる。まず議員を削減してから報酬を上げるのはみんな賛成すると思う。自分たちのことは何もしないで、給料引上げはおかしい。
- ・柏木議員と重議員が2人で来た。無投票工作はしてはいけない。私のところへ来て言ったのではないか。うちに来て何を言ったのか。議会改革委員長がわざわざ連れてきて、無投票工作をするのだから、これは大変な問題だ。
- ・1994年時点の18万4,000円が平均賃金より多かったのかどうかだ。先程話をしたら平均賃金より少し高かっただろう。今は低いのでベースアップをしたいというのはよく分かるが、これを1.5倍にしてしまうのは少し違う。妥当性の問題だと思う。給料が1994年に比べてどうこうではないと思う。
- ・仕事をしているから報酬を上げてくれと言うが、改革委員会の中でしなくていい仕事までしているのではないか。年間に50日しかなかったものが今、80～100日になっている。それで忙しいから給料を上げてほしいと言うのは矛盾している。今までどおりの回数で、公務を同じぐらいにして、忙しくないなら出てみよ

うかという者もいる。こんなに忙しいなら、子育てをしているときに出来るかということもあるのではないか。

- ・自慢や自分の宣伝ばかりだ。
- ・議員の都合のいいことだけ議員の中で決めるより、先に一般の町民の考えに立ってはどうか。自分達の給料を上げるのに躍起になるより、いかに町民の暮らしをよくするかを先にしたほうが良いと思う。
- ・13ページ、最低賃金の伸び率で1.5倍にしているのはなぜか。1倍でちょうどいいのではないか。仕事が増えたと言っても1.5倍はかけすぎでおかしいと思う。
- ・考え方がおかしい。議員歳費とは日にち、出勤日数ではない。たった1日出てきても、1か月30日出てきても、報酬だから決まった額になる。1年間一切、議会に出ない議員にも報酬を払う義務がある。この計算の中で、日にち、時間数を多く出ているから上げなくてはいけないという考え方は議員報酬、議員の歳費の考え方からすればおかしいと思う。
- ・今日の会議の交通費は議員に支給されないのか。今回は、言われるからやめたのか。
- ・今日は、議員個々に意見を言ってはいけないのか。それぞれ意見があるということか。
- ・今度は1か所に集まり議員全員と町民が対面でやる。ほかの議員にも聞きたい。他のことではなく報酬引上げと議員削減についてしてほしい。議会からは町民に意見を聞きたいから出てこいと言うのに、町民からの要望にどうして出てこられないのか。

令和7年5月30日（金）中山公民館

- ・28万円は生活できる程度の金額であり、議員になってリスクを負うには安い。活動するほどマイナスになるが、政務活動費は設けられないのか。不正防止の監査と同時に政務活動費を議論すべきだ。
- ・活動費を捻出できないと、動こうと思う議員が減る。
- ・立替払いは当然で、公費を使う立場なら経路もきちんと出すべき。公式会議しか出ない議員ばかりになってしまう。
- ・全会場200名程度の意見での結論に疑問を感じる。アンケートが必要ではないか。高齢者が多く夜の会議には出たくても出られない人も多いが、その人たちの気持ちがのけられている。
- ・人口減少していれば定数も減らさないと仕方ない。

- ・引上げは賛成だが、定数は10名でどうか。
- ・前には町政座談会があったが最近はないように思う。
- ・チラシが届いてもぜひ行こうという人はまずいないので、声をかければよかった。
- ・県議会議員那賀選挙区の定員はこのままおいてくれるのか。
- ・私は驚敷会場でも賛成を表明したが、参加者40人中一人であり、緊張した。議員が普段何をしているのか分からず、片手間だと思っていたが、現在の報酬額を聞いて驚いた。
- ・定数減の声もあるが、那賀町の広さは変わらない。相談する人、住民の声を形にしてくれる人が減るので、自分たちが苦しむことになる。
- ・議員になりたい人が増えて、小さい声に耳を傾けてくれる人を私たちが選べたらよい。
- ・選挙が無投票になったこともあり、那賀町には興味がないのだと思っていたが、こういう場でしっかり意見を言う人もおり、可能性があると感じた。
- ・議員を職業にしてはいけないという人もいた。私も副業を探していたが、議員の仕事をするなら本職となる程度の金額は保障として必要だ。
- ・今引き上げないといつ引き上げるのかと感じる。
- ・広報活動をして、興味を持ってもらわないと「見たい」にならない。
- ・アンケートはいいと思うが、回収率が低いので手間や経費を考えると。身近な場所で「どちらがいいかシール」を貼ってもらってはどうか。
- ・議員自身がいろいろなアンケートに答えているのか。10年前に低かったというアンケートの回収率を引き上げる努力をしてきたのか。興味がないから答えないのだ。
- ・相手のことを勉強せず、議会のことを分かってほしいと言うのはおかしい。
- ・私はきちんと仕事をして見える化されていれば、もっと引き上げてほしいと思う。
- ・自分のことだけを押し付けているように住民が感じているのではないか。お互いに歩み寄り、議員はいつでも住民の立場だと思いが、それを感じない。
- ・成果は出て当たり前で、出なければ給料が下がって当たり前だ。中身があって頑張っていれば100万円でもいいが、なければ10万円でもよい。成果報酬では判断できないだろうが、中身をどう整えるのか議論してほしい。
- ・議会のDXは当然であり、デジタルが弱い議員は。

- ・職業的な議員としての勉強能力のある若手を推したい。
- ・議員の質。
- ・30万円程度あってもよいと思う。
- ・ガソリンスタンドを今から私費でしようとする人はいない。町もそれだけの経費をかけないと手を上げないのでは。
- ・土取り場やごみ処理場についても中山地区はいろいろ協力しているが、内容が知らないうちに変わる。議会は予算を持っていないと言うが、議員の過半数の意見がまとまれば、町がすることを止められる。権限や責任が重い。
- ・車座会議の回答書もらったが、議員が実際に現場に行って確認したら使い物にならないとすぐに分かると思う。いろいろなことが中途半端に終わっている。
- ・住民の思いが届いているとの気持ちになったら、30万円でも40万円でもいいと思う。
- ・議員がどの程度（の時間）仕事をしているのか。
- ・中山では公民館を中心に行事をしているが、今までどれだけの議員が来てくれたのか。
- ・報酬引上げはよいが、利害関係者のことや自分の儲けにつながる活動でなく、地域のために頑張ってもらいたい。
- ・ガソリンスタンドを早くしてほしい、みんな待っている。
- ・給料を上げてもいいが、しっかり仕事をしてほしい。行政に任せきりでなく、いい案があれば議員から提案すればいい。
- ・行政と仕事をしているが、待っていても何も出てこない。パイプ役は議員しかいない。行政をつついて出てきた答えを受け取るだけでなく、この場合はどうなるかまでしないと動かない。
- ・レスポンスが遅いのだと思う。
- ・50万円にして、本当に質の高い人だけになるようになればよい。
- ・地域代表ではなく那賀町の議員である自覚を持ってほしい。
- ・報酬を100万円にして、全国から集めるくらいにすればよい。
- ・那賀町のグランドデザイン、そもそもの魅力を行政に打ち出せる議会であってほしい。
- ・報酬に対する住民感情も考えたほうがよい。理屈だけでは済まない。